

名古屋大学地震火山研究センター2017年度年次報告会

日時：2018年3月12日（月）10:15 - 17:00

場所：名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール

- 10:15 - 12:05 研究成果報告第1部** 座長 市原寛・前田裕太（タイムキーパー：張学磊）
- 10:15 - 10:20 センター長挨拶 ○渡辺俊樹
- 10:20 - 10:35 GNSS観測テレメータシステムの改修 ○松廣健二郎・伊藤武男
- 10:35 - 10:50 御嶽山火山域における地震テレメータ装置運用試験の開始について ○堀川信一郎
- 10:50 - 11:05 試験運用テレメータ装置による御嶽山2017年秋の地震活動の特徴 ○前田裕太
- 11:05 - 11:20 御嶽山周辺域の群発地震と間隙流体
○寺川寿子・山中佳子・前田裕太・堀川信一郎
- 11:20 - 11:35 2017年6月長野県南部の地震（M5.6）震源域（御嶽山東麓）における比抵抗構造
○市原寛
- 11:35 - 11:50 自然地震記録を用いた地下構造解析 ○渡辺俊樹
- 11:50 - 12:05 2016年熊本地震における益城町市街地の地震断層と建物被害
○鈴木康弘・渡辺満久（東洋大）・中田高（広島大）・田中圭（日本地図センター）

【休憩 70 分】

- 13:15 - 14:45 研究成果報告第2部** 座長 伊藤武男・光井能麻（タイムキーパー：木村洋）
- 13:15 - 13:30 2011年東北地方太平洋沖地震に先行する加速的地殻変動とその意義
○鷺谷威・川島陽
- 13:30 - 13:45 巨大地震発生準備期間の地殻変動における非断層すべり成分の存在可能性：長期的SSE
を例として ○光井能麻
- 13:45 - 14:00 ブイ方式による海底地殻変動観測システム開発 ○田所敬一
- 14:00 - 14:15 高知県神社明細帳にみる南海トラフ地震 ○山中佳子
- 14:15 - 14:30 コロンビアの沈み込み帯でのプレート間固着と内陸ブロック運動 ○伊藤武男
- 14:30 - 14:45 物理モデリングに基づく地震発生シナリオの生成と評価方法の検討 ○橋本千尋

【休憩 15 分】

- 15:00 - 17:00 御嶽山研究施設講演** 座長 鷺谷威（タイムキーパー：辻修平）
- 御嶽山2014年噴火と御嶽山火山研究施設設立の経緯 ○山岡耕春
- 御嶽山の魅力と災害。御嶽山火山研究施設での9ヶ月間 ○國友孝洋
- 御嶽山火山研究施設にできること ○田ノ上和志